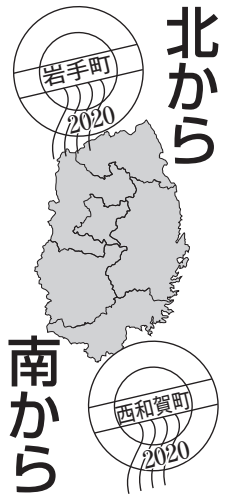


## 特色ある PTA



北から

南から

## 校訓「覇気」を合言葉に

岩手町立川口中学校 PTA



レクリエーションや「語り合い」を通して、会員同士の結束を深めています

本校は、生徒数92名、PTA会員94名の小さな組織ですが、地域の全世帯が本校「学芸体育後援会」の会員になっており、遠征費や校内活動費の補助など、様々な支援をいただいています。地域や保護者の温かい理解と協力を支えられ、私たちも校訓「覇気」を合言葉に生徒の健全育成を目指して、楽しいPTA活動を進めています。

新たな取り組みとして始められたレクリエーションは3年目。前半はニュースポーツで心地よく汗をかき、後半はチー

ムごとの懇談。その場で会員から出された話題で情報共有や意見交換を行いました。お互いの健闘を讃え合い、閉会後はさらに懇談・懇親を深めるべく、有志で「某店」へ。ここから参加の会員もあり、さらに有意義なひと時を過ごしました。この行事は、歴代PTA会長から「必ず引き継ぐこと」と申し送りされています。

## 湯田小のPTA活動について

西和賀町立湯田小学校 PTA

本校は、旧湯田町の三校が統合して出来た学校で、来年開校十周年を迎えます。

本校PTAは、「父母と教職員の協力によって、児童の健全な成長を図ること」を目的に、主に三つの専門委員会（広報、生活、研修）が活動しています。

広報委員会では、年二回、PTA広報の発行を行っています。学校行事の他、PTA行事等の子どもの様子等を伝えています。生活委員会では、ベルマークの収集活動、交通安全指導を主に行っています。今年度も交通事故がなく、無事終えることができそ

さて、12月に行った「教育活動に関するアンケート」で、保護者からの「最も力を入れてほしい指導は？」の回答は、56・5%が「学習指導」でした。今後も、会員個々の声に耳を傾け、「語り合い」の場を尊重することで、生徒の学力も向上するものと明るく前向きに考えていきます。

(PTA事務局 佐々木孝之)

うです。研修委員会では、家庭教育学級の講演会の計画運営、学校保健委員会への参加



毎年、力を合わせて雪に備えています

等があります。今年度の講演会は、西和賀高校野球部の監督、伊藤貴樹先生を招いて「親子で学ぼう〜やりぬくたくましさ」を磨くために」の演題でお話をいただきました。

各専門委員会の活動の他、特徴的なことは、当地区が、県内No.1の豪雪地帯なので、二回目の秋の奉仕作業で、植木の雪囲い、校庭遊具の取り外し等、雪に対する環境整備を行っていることです。

これからも、素直で明るい「湯田っ子」の健全な成長のために、各専門員会ははじめ、PTA活動の充実を図っていきたく思います。

(PTA事務局 山下克司)